

## 「適切なネット利用対策」実践事例 応募用紙（記入例）

<b>団体名</b> <small>（学校名等をご記入ください。）</small>	（例）〇〇学校生徒会執行部 等		
<b>タイトル</b> <small>（取組み内容を端的に表すフレーズで記載してください。）</small>	（例）〇〇市スマホサミット、スマホ啓発と地域との交流、ネットを使わない ことに挑戦、スマホ利用とルールについて考える学校新聞 等		
<b>担当者</b>		<b>連絡先</b>	

### 1. 取組の趣旨・目的

取組みを実施するに至った経緯や背景及び目指す成果等を記載してください。

（例） 軽い気持ちで友達の悪口や不適切な動画を SNS やネット上に投稿することで思わぬトラブルが発生するケースが日常茶飯時になっていることを受け、生徒会メンバーが中心に、自分達のインターネットの使い方を改めて見直し、適切な使い方を全校生徒に働きかけ、学校全体で取り組むことで、ネットトラブルのない学校生活を過ごすことを目的とする。

併せて、生徒同士の交流を深めるなかで、考える力やまとめる力、人前で発表する力等を養う。 等

### 2. 取組内容

誰が、いつ、どういった方法で計画し、実施したかについて、他校が実践する際の参考となるようなるべく具体的に記載してください。（取組主体、取組時期や場所、方法等）また、適宜、取組みの内容がわかる写真等を貼り付けてください。

（例）

4月：1年生対象にスマホ利用についての勉強会（昨年度のスマホサミット映像等を活用）

5月：生徒会メンバーでスマホ利用のメリットとデメリットについて話し合う

6月：全校生徒を対象にスマホの利用実態についてアンケート調査を行う

8月：生徒会メンバーでアンケート結果を分析⇒問題点や啓発方法等について議論

9月：全校生徒や教員・保護者に伝えるため寸劇を練習

10月：寸劇を通して感じた問題点を「スマホあるある」等として全校生徒に標語を作成するよう生徒会メンバーが呼びかける。

11月：集まった標語をポスターにして参観や地域交流会や校区の小学校等で発表し、周りの大人も含めて適切なスマホ利用について議論

### 3. アピールポイント

取組を実施するにあたり、留意した点や工夫した点など、取組を始めようと考えている他校の参考となるポイントを記載してください。

(例)

- ・生徒からの自発的な意見を促すため、大人が考える常識を先に示すのではなく、生徒が実際に遭遇した身近なトラブルを題材にし、生徒の常識を尊重するよう留意した。

### 4. 成果

取組の成果と考えられる事柄について記載してください。

(例)

- ・生徒間の交流が深まり、その他の活動も活発になった。
- ・ネットトラブルが発生しても大きな問題になる前に、教職員に対して相談してくる生徒が増えた。

### 5. 課題と今後の取組について

取組を実践していくなかで明確になった課題や今後の方策等について記載してください。

(例)

スマホやネットは、生徒の生活に密接に関わっているので、こういう取組は継続して実施していくことが重要である。

ただ、この問題は生徒の方が専門知識を有しており、教職員や保護者が遅れている状態であることが課題。

今後は生徒だけでなく、異世代や大人も巻き込んでお互いの意見を交換しながら、ネットリテラシーを高める取組を継続的に取り組んでいきたい。